

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	バリアフリーデザイン小委員会		主査名：岩田 三千子 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境設計運営委員会)		委員長名：久野 覚 主査名：福田 展淳
設置期間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>感覚機能と建築空間との関係について、環境工学的なアプローチを深め、広く社会に啓発することを活動の目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2009 年度；4 回の委員会を開催して委員の研究内容についての情報交換を行うほか、研究協議会 1 回、見学会 1 回を企画運営する。</li> <li>・2010 年度以降；次年度を見据えて年 4 回の委員会を開催し、委員の研究内容についての情報交換を行うほか、見学会、公開研究会などを企画運営する。</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 無		
	岩田三千子 (摂南大学)、安部信行 (八戸工業大学)、延原理恵 (京都教育大学)、土川忠浩 (兵庫県立大学)、土田義郎 (金沢工業大学)、村上泰浩 (崇城大学)、堀越哲美 (名古屋工業大学)、二井るり子 (奈良女子大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無： 有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kankyo/s18/">http://news-sv.ajj.or.jp/kankyo/s18/</a>	

項 目	自己評価						
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)						
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. なし						
講習会	1. なし						
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1. 梅田の新しいランドマークとして竣工した梅田阪急ビル見学会</td> <td style="width: 30%;">参加者数 12 名</td> </tr> <tr> <td>2. 施設一体型小中一貫校「とどろみの森学園」環境デザイン見学会</td> <td>参加者数 26 名</td> </tr> <tr> <td>3. 阪急高槻地域生活総合支援センター・ぶれいす見学会</td> <td>参加者数 12 名</td> </tr> </table>	1. 梅田の新しいランドマークとして竣工した梅田阪急ビル見学会	参加者数 12 名	2. 施設一体型小中一貫校「とどろみの森学園」環境デザイン見学会	参加者数 26 名	3. 阪急高槻地域生活総合支援センター・ぶれいす見学会	参加者数 12 名
1. 梅田の新しいランドマークとして竣工した梅田阪急ビル見学会	参加者数 12 名						
2. 施設一体型小中一貫校「とどろみの森学園」環境デザイン見学会	参加者数 26 名						
3. 阪急高槻地域生活総合支援センター・ぶれいす見学会	参加者数 12 名						
大会研究集会	1. なし						
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし						
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 5 回の委員会を開催し高齢者、子ども、障害者などを対象とした建築環境工学分野のバリアフリーデザインに関連する課題を確認し、メンバー各自がさらなる研究調査活動を行った。</p> <p>2. 福祉施設、鉄道駅、複合型商業施設、鉄道駅、オフィスビル、小中一貫校、大型オフィスビルなど、メンバー全員で公開見学会を企画、実施した。バリアフリーデザインの実施例や CASBEE について、環境工学的な観点から実例と実情について知見を広めた。</p> <p>3. 見学会を通じて、建築環境工学分野のアカデミックスタンダードの実践現場の内容を互いに分野の異なるメンバーと意見交換をし、複合的な環境デザインに対する新しい知識を共有した。</p> <p>4. 次年度以降、ユニバーサルデザイン環境設計についてのアンケート調査を企画することを決めた。</p>						
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 昨今は本務先業務の多忙な委員が多く、ネットワーク拡大をねらって公開研究会等の企画実施することが難しく、日常的な意見交換も不十分になりがちである。</p> <p>2. 環境工学分野の現場での問題点を明らかにする必要がある。</p>						